



自民党教育再生実行本部の国会議員らが視察した小6の英語の授業＝4日、勝山市成器西小

小学英語の現場視察

国会議員 提言反映具合を調査

勝山・成器西

県教委が全国に先駆けて小学3～6年生の週1、2回の英語教育に取り組む中、自民党教育再生実行本部の国会議員らが4日、勝山市成器西小6年生の授業を視察した。

6年生担任の林裕美教諭(40)と外国語指導助手のメイガン・ダンカンさん(23)が指導した。全国の名所や名産品がイラストで描かれた日本地図が黒板に張られ、児童26人

が「Where do you want to go?」「I want to go to snow festival」など会話を繰り返した。視察した国会議員も一部の内容に加わった。

視察は、同本部の英語教育に関する提言が現場にどう反映されているかを調査するため行われた。同本部顧問の遠藤利明衆院議員は「楽しい授業をしていた。英語は慣れて使っていくことが大事で、一番いいやり方をしていると思う」と話していた。

遠藤氏のほか同本部事務局長の上野通子参院議員、副本部長の左藤章衆院議員(あわら市出身)が視察した。福井1区選出の稲田朋美衆院議員が同行した。

県内の小学校では本年度から3、4年生で英語活動を週1回導入した。5、6年生の英語活動は週2回に増やした。

勝山市は2014～17年度に文部科学省の「英語教育強化地域」に選ばれ、小学校での英語教育にいち早く取り組みできた。(小林真也)